

報 道 資 料

平成19年10月25日(木)

件 名 中国四国防衛局長の来庁について

概 要 このことについて、下記のとおりお知らせします。

記

1 日 時 平成19年10月25日(木) 14:00～14:50

2 場 所 市長応接室

3 相手方 中国四国防衛局長 月橋晴信ほか

4 当 方 岩国市長 井原勝介

5 月橋局長の発言内容

先般の岩国市の提案については、検討の結果、庁舎の補助金の交付には、米軍再編に対する岩国市の理解が必要であり、まず先に、補助金交付を前提とした提案に応じることは困難である。

他方、本日、当省からの提案として、具体的には、市庁舎の補助金交付と岩国市の米軍再編への理解表明を同時に行うことは可能と考えられると思っている。

このため、市長に対し、一定の理解を求めたいと思っており、例えば「米軍再編について、具体的にこれまでの反対姿勢を改め、今後、反対姿勢に戻ることなく、米軍再編の円滑かつ着実な実施について協議を行っていく」との趣旨を表明されるのであれば、その表明と同時に市庁舎補助金を交付することについて検討することが可能であると考えている。

なお、市庁舎の補助金は、補助金適正化法の趣旨を踏まえれば、交付決定前の事業量を対象として交付することは困難である。

沖合移設後の滑走路で試験的に空母艦載機の飛行を実施することについては、当局としては、現在、滑走路沖合移設事業を行っているところであり、移設が完了すれば、空母艦載機の訓練を移転しなくても、類似の機種が岩国飛行場に所在することから、騒音の状況は明らかになるものと考えている。

6 市長コメント

米軍再編を容認することが市庁舎補助金交付の前提であるとの回答であった。お互いの立場を尊重し、納得のできる解決策を探るべく、協議のテーブルにつくことを提案したが、理解が得られず残念である。

また、本日の国(防衛省)からの提案については、提案の中味を詳細に検討し改めて回答することになるが、再編の容認が前提であるなら前向きな回答は難しいと考えている。

岩国市総合政策部基地対策課

0827 - 29 - 5024

岩国市総務部庁舎建設事務所

0827 - 29 - 5035